

やさい週間情報(第18号)

平成29年8月10日(木)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 4 L	6,500~6,000	6,500~6,000	—	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 引続き消費地の気温高およびお盆前の抱え込み需要から、ながいも自体の需要は伸びている。特に2L級以下については1本売り用として荷動きが回復したことから、今週についても入荷量の不足感が見られる。ただし、太物についてはいまだ荷動きが鈍い状況。 8月下旬、9月に向けて消費宣伝会を積極的に企画し、売場の確保・拡大に努め需要の喚起を図っていく。 消費地の気温上昇にともない、品質低下も見られることから、産地においては選別の徹底をお願いします。
		A 3 L	6,500~6,000	6,500~6,000			
		A 2 L	5,500~	5,500~			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B 4 L	5,500~5,200	5,500~5,200			
		B 3 L	5,500~5,200	5,500~5,200			
		B 2 L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B L	4,300~	4,300~			
		B M	4,000~	4,000~			
		C 2 L	4,400~4,200	4,400~4,200			
		C L	4,000~3,800	4,000~3,800			
名古屋	本県産 北海道産	A 4 L	6,200~6,000	6,200~6,000		1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 7月以降、出荷量が調整されたことや太物の価格を下げたことなどから、安価な転送品の出回りも少なくなっており、荷動きは回復傾向となった。 また、気温高から消費が活発化しているうえ、盆前を控えていることもあり、引合いが強く安定した販売となった。 今後についても、太物中心の企画提案を積極的に実施するとともに、8月下旬以降消費宣伝会を実施し売場の維持・拡大を図りたい。また、傷みが散見されるため、選果・選別の徹底を引続きお願いしたい。
		A 3 L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		A 2 L	6,000~5,500	6,000~5,500			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		A M	4,500~4,200	4,500~4,200			
		B 4 L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		B 3 L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		B 2 L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B L	4,700~4,600	4,700~4,600			
		B M	4,400~4,300	4,400~4,300			
		C 2 L	4,600~4,500	4,600~4,500			
		C L	4,200~4,000	4,200~4,000			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,000～ 6,000～ 5,500～5,300 5,000～4,800 5,000～ 5,000～ 4,700～4,500 4,300～ 4,400～4,200 4,000～3,800	6,000～ 6,000～ 5,500～5,300 5,000～4,800 5,000～ 5,000～ 4,700～4,500 4,300～ 4,400～4,200 4,000～3,800		カット 78～98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 今週は盆需要から太物とM級以下の細物を中心に幾分荷動きは良化傾向となっている。また、L級での1本売りの注文も徐々にではあるが出てきている。ただ、仲卸等の在庫でイタミが見えてきていることから、必要以上に在庫を持ちたがらない動きもある。 来週は盆で開市の日が少ないものの、価格については保合推移となる見込み。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	6,800～6,500 6,800～6,500 6,300～6,000 5,500～5,200 5,800～5,500 5,800～5,500 5,300～5,000 4,800～4,500 4,300～4,000	6,800～6,500 6,800～6,500 6,300～6,000 5,500～5,200 5,800～5,500 5,800～5,500 5,300～5,000 4,800～4,500 4,300～4,000		カット 100g 98～88円	お盆前の週で、総体的に流通量が減少傾向で推移している中、例年と比較すると売価高の影響により、お盆前後の発注量は少ない。 ながいもは最需要期となっているが、福岡県ほか九州各県は連日35度以上の気温となっている影響により、煮炊きをする品目を中心に青果物全般に荷動きが鈍く、また、量販店ではお盆の週から売価を下げない傾向となり、お盆前後の発注量の少なさの一因となっている。 来週は、九州管内の出荷が週後半となることから引続き入荷量は少なく、現在の価格を保ったまま推移する見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,000～ 6,000～ 5,200～ 5,000～ 5,000～ 5,000～ 4,500～ 4,200～ 4,200～ 4,000～3,800	6,000～ 6,000～ 5,200～ 5,000～ 5,000～ 5,000～ 4,500～ 4,200～ 4,200～ 4,000～3,800	なし	1本売り 480～円 カット 100g 84～78円	本県産中心の販売。 引続き、ながいもの需要期ではあるものの、売価高から末端の荷動きは鈍い。ただ、安価な転送品の案内は減少してきており、東北については入荷量も少なく、荷動きは回復しつつある。 来週については、お盆から入荷量が少なく、市況は保合推移の見込み。

品名 に ん に く

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産(生) 香川県産(乾燥)	A 2 L A L A M 秀 3 L 秀 2 L 秀 L	2,200~2,000 2,000~1,800 1,800~ 1,600~1,500 1,600~1,500 1,400~1,200	2,200~2,000 2,000~1,800 1,800~ 1,600~1,500 1,600~1,500 1,400~1,200	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 ｽﾊﾟｲﾝ産 1 P 158~98 円	本県産と香川県産終盤の販売。 香川県産の入荷が今週いっぱい終了となることと、本県産の入荷も少なかったことから、不足感が見られ、引合いの強い状態が続いている。 お盆明け以降、本県産中心の売場が変わっていくが、引続き総体量の少ない状況が予想される。今後についても出荷比率の低い2L級は強め、出荷比率の高いM級についてはやや弱めの相場展開となる見込み。 今後は例年に比べると比較的M級の入荷が多い見込みのため、LM中心の販売環境づくりに努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~1,800 2,000~1,800 1,800 1,800	2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~1,800 2,000~1,800 1,800 1,800	なし	L 1 P 258~198 円	本県産中心の販売となっている。 売場はL品中心となっており、M品についてはやや弱めとなっているものの、総体的には出荷量が少ない状況が続いていることから引続き堅調な販売となった。 盆休を控えており、出荷量も少ない見込みとなっていることから、各社引合いが強まっている。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,300~2,000 2,200~2,000 2,000~1,800	2,300~2,000 2,200~2,000 2,000~1,800		L 1 P 298 円	本県産の生品の販売。 引続き、入荷割合の低い2L級の引合いは強く、入荷割合の高いM級の引合いは他階級に比べると弱い状況となっている。ただ総体量が少ないことから、総じて堅調な販売で推移した。 来週については入荷がほとんどないものの、価格については保合推移となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,200 2,000 1,700	2,200~2,000 2,000~1,800 1,700~1,500			九州管内にもようやく本県産の入荷が始まり、ここまで入荷が殆どなかったこともあり、価格は強めの販売となっている。 今週もお盆前に入荷が少なく、各社品薄となっていることから、現在の価格高を保ったまま推移するが、早くも安価な転送品が出回っていることが懸念される。

品名 にんにく No. 2

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	(乾燥) A 2 L A L A M	2,300~2,200 2,000~ 1,800~	2,200~ 2,000~ 1,800~	なし	L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 引続き、29年産乾燥品の入荷量が少なく、市況は堅調な推移となっている。入荷比率の少なさから市況は2L中心の展開。 来週についても、お盆から入荷量の少ない状況は続くものと思われ、市況は保合での販売となる見込み。

品名 だいこん

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A 2 L A L	800~ 700 800~ 700	800~ 700 800~ 700	—	1本 198~178 円 ハーフカット 98 円	本県産、北海道産中心の販売となっている。 今週についても、これまでの天候の不安定さから抽苔が散見され、早めの収穫を推奨していることからL以下中心の出荷となっている。またカット品の割合が比較的高く製品の出荷量はそれほど増えきらずに推移している。特に2L級の入荷が少ないことから、2L級の相場は先週より若干の底上げとなっている。 総体量は多くはないが、消費地の高温から軟腐等も散見されており、荷動きは芳しくなく来週についても、相場は保合で推移する見込み。
名古屋	本県産 岐阜県産 北海道産	A 2 L A L	1,000~ 900 1,100~1,000	1,000~ 900 1,100~1,000		1本売り 198~158 円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 本県・北海道産ともに入荷が少ない状況が続いているうえ、盆需要ということもあり、強めの販売となった。 来週についても、各産地とも入荷は少ない見込みとなっており、安定した販売が続く見込みとなっている。
東北	本県産	平場 A 2 L A L 高冷地 A 2 L A L	800~ 700 800~ 1,000~ 900 1,200~ 1,100	800~ 700 800~ 1,000~ 900 1,200~ 1,100	—		本県産中心の販売。 東市場については、本県産中心の販売となっている。、北海道産の出回り量はやや減少となったものの、依然として荷動きは鈍く、市況は保合推移となっている。 来週についても、入荷量は変わらず少なめで推移となるが、末端の荷動きは鈍く、市況は保合推移の見込み。

品名 こ か ぶ

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	1,000～ 800 1,000～ 800	1,000～ 800 1,000～ 800			<p>本県産中心の販売。</p> <p>品種の切り替えから、品質不安は一部解消されつつある。また、品種切り替え当初はLM中心の入荷となり総体量は微減となったため価格は底上げとなった。</p> <p>しかし、消費地では気温上昇による消費の減退や今週に入り、売込み不足であった2L級の比率が高まったことから相場は全体的に弱保合での推移となった。</p> <p>お盆明け以降、入荷量はさらに増量する見込みだが、消費宣伝会を実施し、消費拡大に努める。</p>
名古屋	本県産	A 3 L 2 L	800～ 700 800～ 700	900～ 800 900～ 800			<p>本県産中心の販売となっている。</p> <p>播種の薄い時期となっているうえ、3L比率が低い状況が続いているものの、総体量の少なさや盆需要による引合いが強まっていることから、価格は一段上げての販売となった。</p> <p>来週についても、引続き入荷は少ない見込みから強めの販売となるものと思われる。</p>
大阪	本県産	A 3 L A 2 L A L	700～ 600 1,000～ 700 800～ 600	700～ 600 1,000～ 700 800～ 600			<p>本県産中心の販売。</p> <p>他品目と同様、消費地での気温上昇に伴う消費の減退により荷動きは鈍い状況となっている。また、葉の黄変等の品質低下は少なくなっているものの、価格は弱保合での推移となった。</p> <p>来週についても、同じ傾向は続く見込み。</p> <p>品質低下品は少なくなっておりますが、引続き産地での検品の徹底をお願いいたします。</p>
東北	本県産	A 2 L A L	800～ 700 800～ 700	800～ 700 800～ 700			<p>本県産中心の販売。</p> <p>引続き安定した入荷が続いている中で、依然として荷動は鈍く市況は弱保合推移となっている。</p> <p>来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、市況は保合で推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,200~1,000 1,200~1,000 1,200~1,000	1,200~1,000 1,200~1,000 1,200~1,000			<p>東北産、北海道産中心の販売となっている。</p> <p>各産地ともに気温の低下にともない出荷量は非常に少ない状態が続いている。量販店等からの連休前の発注は平年より少ない状態だが、総体の不足感から底上げしての販売となっている。</p> <p>お盆期間中の休対出荷量もそれほど多くはないが、来週末にかけて各産地とも微増となる見込みから不足感は解消されるものと思われ、市況は弱保合で推移する見込み。</p> <p>7月下旬から都内を中心に販促活動を強化しており、今後も引き続き実施することで消費の拡大に努めていく。</p>
名古屋	本県産 岐阜県産	A L A M	1,000~ 1,000~	1,000~ 1,000~			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>岐阜県産については、小玉傾向もあり平年に比べて入荷はやや少ない状況となっていたものの、今週に入り増加した。岐阜県産は8月下旬にピークを迎える見込みとなっており、盆明けについても弱保合での販売が見込まれる。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M 3Kバラ	110~ 100 130~ 120 1,600~1,500	110~ 100 130~ 120 1,600~1,500			<p>東北産、北海道産中心の販売。</p> <p>今週前半は、北海道産、東北各産地は潤沢な入荷となったが、特売等の需要から、パック・バラ同様に荷動きは良かった。しかし、週後半にかけてはお盆の帰省等から入荷に対する量販店等の販売が追いつかず、荷動きの鈍さが見られている。</p> <p>次週について、東北産地の低温の影響から入荷量は微減となるが、価格は保合の展開見込み。</p> <p>大玉同様に量販店での消費宣伝会を企画し、消費の拡大に努める。</p>

品名 ば れ い しよ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	メークイン A 2 L A L A M	1,200~1,000 1,000~ 800~ 600	1,000~ 1,000~ 800 800~ 600			<p>本県産中心の販売。</p> <p>関東近在産はほぼ終了となっており、引続き本県産および道南産の入荷となっている。消費地の高温から野菜全般に厳しい販売状況が続いているため、本品目についても販売苦戦となっており、荷動きは鈍い状態が続いている。</p> <p>お盆明け以降、帯広地区の出荷開始が見込まれており、総体量の増加から厳しい販売が予想される。腐敗等のクレームが続くと北海道産への産地切替が進んでしまうため、風乾と選別の徹底をお願いします。</p>
名古屋	本県産 静岡産 北海道産	A 2 L A L A 2 L A L	メーク 1,000~ 800 1,000~ 800 丸系 1,200~1,000 1,000	メーク 1,000~ 800 1,000~ 800 丸系 1,200~1,000 1,000	多い		<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>北海道産は道南産の入荷が始まった中、お盆前までは本県産の売場は確保されているものの、消費地の高温から引合いは鈍く弱保合での販売が続いた。</p> <p>お盆明け以降、北海道産が本格化することから、本県産については丸系を中心に切り替わりが進み、厳しい販売となる見通し。</p>
大阪	北海道産 本県産	メークイン A 2 L A L A M 丸系 A 2 L A L A M	1,200~ 800 1,200~ 800 900~ 600 1,200~ 1,100~ 800~	1,200~ 800 1,200~ 800 900~ 600 1,200~ 1,100~ 800~			<p>北海道産・本県産の販売。</p> <p>北海道産は道南地区のみの入荷となっており、それほど多くないことから、販売の中心は本県産になっている。しかし、消費地で連日の暑さから加熱商材全般で荷動きは悪く、価格は弱保合で推移した。</p> <p>来週については、北海道産は盆明けから入荷が増え始める予定となっているため、価格は弱含みでの推移となる見込み。また、北海道産については今月最終週から本格出荷となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L A M	メークイン 1,300~1,100 1,200~1,000 1,000~800	1,300~1,100 1,200~1,000 1,000~800		袋 158~138 円	<p>北海道産メークの入荷は少ないが、丸系の入荷が日々増となっていることに加え、連日の猛暑により荷動きの鈍さは変わらない。</p> <p>お盆前後の週で若干入荷は少なくなることから流通在庫は減少するが、今後1週間35度前後の気温予想から、荷動きの鈍さは変わらず、価格は弱めの販売が続く見込み。</p>

品名 ピーマン

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	A L 袋	1,200~ 60~55	1,200~1,000 55~50			<p>東北各産地中心の販売。 東北各県産ともに気温の低下にともない出荷は予想よりも少なく、総体量もそれほど多くなかったことから、今週についても保合での推移となった。 お盆明け以降、各産地潤沢な入荷となることが見込まれ、次週も下げ基調の相場展開となる見込み。</p>
大阪	本県産 福島県産 兵庫県産	バラ A L 150g袋 A L	1,300~1,200 60~	1,300~1,200 60~ 55			<p>本県産中心に福島県産・兵庫県産の販売。 各産地とも入荷量はそれほど多くないものの、先週までの量販店等での盆需要に手当てがついたため、荷動きは鈍い状況に戻っている。 来週は休対も予定されているが、同様の傾向は続く見込み。また、赤果の混入が見られているため、産地での検品等の徹底をお願いいたします。</p>
東北	本県産 東北産	バラ A L 袋 A L	1,200~ 70~60	1,200~ 70~60			<p>本県産・東北産の販売となっている。 先週に引続き、本県、東北産地の増量が鈍く、市況は、保合推移となっている。 来週については、気温次第だが東北産地の入荷量は増量に伴い、市況は弱含み推移の見込み。</p>

品名 露地ねぎ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	A 2 L A L A L	1,500~1,300 1,800~1,600 1,200~1,000	1,300~1,200 1,700~1,500 1,200~1,000			<p>関東近在産、東北各産地中心の販売。 各産地が出揃い、総体量も徐々に増加傾向にある。各東北産地が太物中心の入荷となっている中で、業務需要の停滞から2L級については下げ基調で推移した。これまで量販店へはL中心の売込みとなっていたが、2Lも使うようになってきたことから幾分荷動きは良好となっている。 今後、下旬にかけて東北各産地が増量傾向から、L級についても価格を下げながらの販売となるが、関東近在産からの産地切替をスムーズに行い、本県産の売場の確保に努める。</p>

品名 きゅうり

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,500~1,300	1,400~1,200			<p>東北各県産中心の販売となっている。</p> <p>今週は各東北産地の出荷量が事前情報よりも少なく推移したこと、本県産についても非常に少ない入荷量から、不足感もあり相場は一段上げで推移した。</p> <p>来週については、東北産各産地ともに微増見込みから、相場は弱含みでの展開となる見込み。</p>